

教えてくれた人

例えば

「海外で働きたい！」



MAX Consulting Group, Inc.
代表取締役社長

名倉 学さん

ニューヨークを本拠地として、全米の求人を抱える日系人材紹介会社。日系企業のみならず、現地企業への仕事紹介も行っている。

海

外で働く場合、最大の難関はビザの問題。プラクティカルトレーニングビザが出る学校ならいいのですが、語学留学の場合、かなり厳しいのが現実です。アメリカの場合、やはり基本は、仕事を探して、就職先の企業にスポンサーになってもらって、最も一般的な労働ビザであるH-1Bを取得すること。そして、その間に永住権を申請することですね。

問題は仕事が見つかるかどうかですが、日本の大学を卒業して、2〜3年実務を経験してから留学し、アメリカの大学・大学院で学位を取得した人なら、比較的すぐに仕事が決まると思います。本当にアメリカで働いていきたいのなら、語学留学を第1ステップとして、大学や大学院に編入・入学し、学

位を取得したほうがよいと思います。

就職に際しては、やはりスキルや経験を判断されます。ニーズが高いのは、会計などの専門スキルを持つている人。IT技術者も需要が高く、JavaやVisual Basicなどのスキルに、実務経験があれば、語学留学でも仕事が見つかる可能性はあります。また、営業経験者もニーズがあります。

また、日本人としての常識の有無も非常に重要。過去には面接に恋人を連れてきた人もいましたが、そういう非常識な人はやはりうまく行きません。アメリカで働くことは、アメリカ人と対等に仕事をするからです。日本で働くよりもかなり困難なはず。ボジションは少ないし、解雇もあるし、甘えは通用しません。何となく留学ではなく、しっかりと目標を持って来ていただきたいですね。

情報源

海外就職について知る

**「海外で働く」
2003年度版**

海外で仕事をしたい、と思っている人のための海外就職ガイドの最新版。世界18カ国の就職・ビザ取得状況、生活についての最新事情がぎゅっしり詰まった一冊となっている。



アルク刊
本体1200円（税別）